

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日：2022年9月11日

所属学部／研究科・学科／専攻	法学部/法律学科/公共法務コース
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文： カリフォルニア大学ロサンゼルス校 現地言語： University of California, Los Angeles
留学期間	2022年6月～2022年9月
留学した時の学年	4年生（渡航した時の学年）
留学先での学年	4年生（留学先大学で在籍した学年）
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年9月16日
明治大学卒業予定年	2023年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期：9月中旬～12月上旬 2 学期：1月中旬～3月下旬 3 学期：3月下旬～6月中旬 4 学期：(6月中旬～9月中旬) (記入例/1 学期：4月上旬～7月下旬, 2 学期：9月中旬～2月上旬)
学生数	47,518 (2021)
創立年	1919

留学費用項目	現地通貨 (\$)	円	備考
授業料	6,857.54	912,428 円	登録料、その他手続き料など含む
宿舍費	5,112.66	684,542 円	手数料
食費	0	0 円	交際費としての食費除く
図書費	0	0 円	
学用品費	0	0 円	
携帯・インターネット費	0	0 円	
現地交通費	50.00	7,000 円	観光での交通費除く (<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	0	0 円	
被服費	0	0 円	
医療費	0	0 円	
保険費		30,660 円	形態：海外旅行保険
渡航旅費		223,680 円	JAL 直行便
ビザ申請費	350.00	42,043 円	
雑費	59.00	8,260 円	洗濯、その他学校内での必要経費
その他	50	7,000 円	日用品費
その他		円	
合計		1,915,613 円	(観光、交際費等除く)

渡航関連

渡航経路
往路 出発地：羽田空港 目的地：ロサンゼルス国際空港 経由地： 復路 出発地：ロサンゼルス国際空港 目的地：羽田空港 経由地：
渡航費用
①往復チケットを購入した場合 航空会社：JAL 料金：223,680 ②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社： 料金： 復路 航空会社： 料金： ∴合計：
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店（店名： ） <input checked="" type="checkbox"/> インターネット（サイト名：JAL 公式サイト） <input type="checkbox"/> その他（ ）

滞在形態関連

1) 種類（留学中の滞在先）（例：アパート、大学の宿舎など）
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮（寮の名前：Centennial Hall） <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋（同居人数前半3人、後半2人）
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン（ <input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可）
4) 住居を探した方法：
UCLA の公式サイト
5) 感想：（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）
比較的新しい建物だったので、部屋も共用部分もきれいで、快適に暮らせました。3人部屋でしたが、一人ひとりのスペースが十分に確保でき、心理的にもストレスを感じる事が少なかったです。また、一度エアコンが壊れてしまったのですが、大学のリペアセンターにメールをして修理依頼を頼んだところ、とても速く対応してくださったのが良かったです。これは部屋にもよりますが、自分の部屋に虫が湧くことがなかったので、その点もストレスが少なく過ごせたと感じます。 LAは湿気の無いからとした天気なのでそこまで心配はありませんが、やはり暑い日が多いので、エアコンの有無をチェックして寮をとることをお勧めします。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例：現地の病院、学内の診療所)

- なし
 あり (治療を受けた場所：)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
 (例：留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

- なし
 あり (問題の内容や相談した人等：)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

犯罪に巻き込まれたことはありませんでした。危険情報については、旅レジというサイトに登録することで、近隣の地域を含めたニュースをメールで受信することができ、そこから情報収集を行いました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

校内では比較的スムーズにWifiにつながることができ、寮で利用・接続について不便に感じることはありませんでした。街中のカフェや商業施設などもWifiが設置されていることが多く、とても便利でした。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？(例：現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地では銀行口座もなく、また現金を引き出すクレジットカードではなかったので、日本から少し多めに換金して持っていました。現地ではほとんどのお店でカードが使えるので、クレジットカードは念のため複数持っていました。基本的にはカードを使い、友達同士でお金の清算をする時に現金を崩していくというかたちでやりくりをしていました。オンライン決済などをするタイミングが多くありましたが、該当サイトによってカードが拒否されてしまうことなどもあったので、複数のカードを持っていくことをお勧めします。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

基本的にこちらで調達出来ます。しかし、商品の質と値段を考えると日本で買った方がコスパが良いことが多いので、使い慣れている日用品(バス用品、メイク用品等)などは日本から持っていくといいと思います。ただ、飛行機に乗る際に結構な重さになってしまうので、それを考慮して選ぶことも大切だと思います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例：渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前に自分の指定したクレジットカードで決済をしました。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
17 単位		<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 () ・履修の制限はありましたか？ 特になし		
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：
Conversation and Fluency		会話と流暢さ
科目設置学部・研究科	ESL	
履修期間	6/21～7/29(6 週間)	
単位数	4	
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）	
授業形態	レクチャー（チュートリアル、講義形式等）	
授業時間数	1 週間に 150 分が 2 回	
担当教授	McGrath, K.K	
授業内容	英語を話す際、アクセントやジェスチャーなど、どんな点に気を付けて話せばより自然に会話ができるかを学びます。現地生やネイティブの人にインタビューをして英語を話す際のポイントをまとめることや、短いストーリーを作成して演じるなど、活動内容は多岐にわたります。また、先生による解説や講義授業もあります。	
試験・課題など	定期テストはありませんが、上記に書いたような発表を行い、そのあとにリフレクションを書くという流れで課題が行われます。最終課題はネイティブの方と会話をして内容のスク립トを作成、そこから分析をするという内容で、少し大変でした。	
感想を自由記入	ほとんど毎回の授業で発表する機会があり、個人・チーム作業関わらず常に課題があるという状況でした。ただ、一つ一つは重くなく、為になるものが多かったので楽しんで作業に取り組みました。日本人がとても多い授業でしたが、授業中は英語でしか話してはいけなかったため、スピーキングの能力が上がったと体感しています。先生も優しく、英語が得意ではないことを理解してくれたので、自分が発言する際にはしっかりと注意深く聞いてくれたのがとても有難いと感じました。	

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Disney Feature: Then and Now		ディズニー映画の昔と今	
科目設置学部・研究科	Film		
履修期間	6/21～7/29(6週間)		
単位数	5		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に170分が2回		
担当教授	Gladstone, F.B		
授業内容	昔から今までのディズニー映画の特徴や制作の背景を分析し、常にアニメーション映画業界の第一線を走る理由について、先生の講義を聞くという形式でした。クラス内でのディスカッションなどは無く、先生から来た質問にはわかる人が挙手制で答えるというかたちです。授業内で映画を沢山見ることができ、その上で先生からの解説を聞いて深く理解することが出来ました。		
試験・課題など	課題は中間と期末にレポートが一つずつあります。中間レポートで1つディズニー映画を選択して、その映画を選択した理由や今後どのようなことを調べたいかのレポートを書きます。その上で、期末レポートでは制作の背景などをより深く分析し、レポートにまとめました。		
感想を自由記入	元々ディズニーが好きで映画に興味があったので、深く内容を知ることが出来るとても楽しい授業でした。ただ、講義形式で先生がずっと話しているという形だったので、内容を完全に理解することが難しく、またディスカッションも無いため、分からないものは分からないままという状態に少し物足りなさを感じていました。課題では、自分の興味のあるディズニー映画ならどの映画でも選択可能だったので、興味のまま課題を進めることが出来るとても楽しかったです。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Public Speaking for Nonnative Speakers		ノンネイティブのためのパブリックスピーキング	
科目設置学部・研究科	Communication		
履修期間	8/1～9/9		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義、発表（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に125分が2回		
担当教授	Negrete, T		
授業内容	プレゼンテーションをする際にどのようにしたら魅力的なものになるのかを先生の講義やプリントから学び、4回のスピーチ発表で実践していくものでした。文章構成や内容の選択、そのうえでどのように伝えればいいのかを学んでクラスメイトの前でスピーチをし、質問を受け、振り返りをします。基本的にクラス内でディスカッションなどの交流は少ないですが、スピーチをするという貴重な機会を活かすことが出来ました。		
試験・課題など	試験は無く、評価は4回のスピーチ、スピーチの際の質問、出席などを含めて判断されます。スピーチは5分程度のもので、様々なテーマを取り扱いました。		
感想を自由記入	授業内でスピーチに特化した内容と機会があることが珍しいので、とても良い経験になりました。スピーチは適度そこまで難しくなく、クラスメイトと先生も優しく反応してくれたので、リラックスして授業に望めたと感じます。人前で一定の長さの英語を話すことが初めてだったので、最初はうまく行きませんでした。回を重ねるごとに自分の成長を感じる事が出来ました。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Political Economy of Development	開発政治経済学
科目設置学部・研究科	International Development Studies
履修期間	8/1～9/9
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に125分が2回
担当教授	Michel, J
授業内容	貧しい国と豊かな国が過去にどのような問題に直面し解決をしてきたのかを、実際の歴史や文献を参考に論理的にアプローチをしていきます。基本的に予習としてレポートなどの文献を読み、それに対応した内容について、教授作成のスライドを使用して授業が進んでいきます。授業は講義形式ですが、先生が頻繁に質問を投げかけてそれに挙手制で生徒が答えるシステムです。
試験・課題など	課題は特に提示されていませんが、先生が事前にアップロードしている文献を読んで理解した前提で授業が進んでいくので、それを読むことが課題のようになっています。試験は中間と期末の2回で、オンラインで行われます。授業自体をオンラインから参加することも可能になっており、その生徒は、毎授業提示される小テストを行うが必要でした。
感想を自由記入	あまり馴染みのない政治経済学で、ついて行けるかとても不安でした。やはり授業内容は高度で、速いスピードで進んでいくので、周りについて行けず、内容も3割ほどしか理解できずに終わってしまうことも多々ありました。ですが、経済発展や社会問題のような、当事者として考えるべき内容を取り扱っているのが、興味を持って授業に望めたのが良かったと思います。また、先生がとても親切な方で、授業資料も必ずアップロードしてくれていたのも、それをういて復習を進めていました。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください（下記2以降は記入不要）
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他：
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
各種就活サイト等
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。（内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません） ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
金融系
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 （例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。） ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
4年の6月下旬から留学に行くことが決定していたので、それまでに絶対に就活を終わらせるつもりで比較的早い段階から就活を行っていました。留学はとても貴重な経験なので、就活を理由に留学を断念するのはとてももったいないと感じます。留学に行くと決めれば、少なからず半年ほど前から準備も行うと思うので、日本にいるうちに就活を進めることもできます。留学中での就職活動は経験していませんが、サマーセッションでは比較的自由時間を作ることもできるので、両立も可能なのではと思います。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備、試験対策等）をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	TOEIC の勉強
	4月～7月	TOEIC の勉強
	8月～9月	留学について理解を深める
	10月～12月	留学について理解を深める、明治大学に出願、選考
留学開始年	1月～3月	UCLA に出願、パスポート取得、航空券購入、予防接種
	4月～7月	寮の確保、履修登録、ビザ取得、出国、留学中の中間試験・期末試験
	8月～9月	留学中の中間試験・期末試験、帰国
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

UCLA を志望し留学を決意した理由は、世界的に有名で世界中の生徒が集まるこの大学で学ぶことで、様々な文化や背景に基づく考え方に触れたいと考えたからです。これは私が留学を目指していた理由にも通じるものでした。授業においても、日本ではなかなか会うことのないネイティブとしての観点から学問を学ぶことで、自分とは異なる意見に触れ、それを考慮しながら柔軟な思考を身につけたいと考えました。

実際に授業や生活を送り、やはり多様性のあるキャンパスで学べたことは大きく自分の価値観を変える機会となりました。当留学はサマーセッションであり、現地の学生にとっては夏休み期間での開催となるので、実際には留学生がとても多く、文化の交流を楽しんでいる様子を感じ取ることが出来ました。UCLA は現地生を含めて多様な国籍の生徒が通っているため、留学生の私たちに対しても抵抗がなく、たくさん興味を持って話しかけてくれたことで、安心して信頼関係を築くことにつながりました。

授業については、英語力を伸ばすための授業と専門的でアカデミックな授業を2つずつ履修しました。英語の授業ではスピーキングに力を入れることが多く、日本では上達が難しいスキルを磨くことができたと感じます。またネイティブスピーカーが会話をする際に使用するスラングやジェスチャー、リアクションなどを学ぶことで、普段の生活にも活かせるような実践的な内容で、とても有意義なものとなりました。一方専門的な授業では講義形式が多く、先生の話の話をずっと聞いてメモを取るというものでした。最初はほとんど理解できず、とても苦労しましたが、予習復習に時間を割いたことでだんだんと実力がついた実感がありました。授業数や時間に比較的余裕があったので、観光と勉強を両立しながら生活することが出来ました。

留学を目指している学生の方は、行きたいと強く思うのであれば実現させることをお勧めします。私は4年生での留学ということで就職活動との両立を懸念していましたが、留学がモチベーションとなり就職活動により専念することが出来ました。留学中はうまく行かないことがほとんどで落ち込むことが多くあると思いますが、自分が留学を目指していたときの気持ちを思い出すことで、自分の行動の指針となると思います。私にとって今回が初めての海外であり、初めての留学でした。もちろん期待通りにならないことの方が多いと思いますが、異国の地で3か月間行った大学内外の全ての経験が貴重で、今後の自分に大きな影響を与えてくれると確信しています。留学を目指す皆さんを応援しています。